

とで、私はお願いしていますよ。

○議員（16番 大部 初幸君） ああ、わかるんですけど、皆さんが見とるからいいやないですか、答えられれば。できんならできんでいいとよ。しとるか、していないかということだけを教えてください。

○議長（小川 廣康君） 大部議員。答えられるか、答えられんかじゃなくて、通告に基づいて質問をお願いいたします。ですから、それは質問はちょっと御遠慮願いたいと思います。

学校施設とか保育施設のトイレについては、通告がっておりませんので、あくまでも公衆トイレですので、幼稚園とか保育所は公衆トイレではございませんので、よろしく願いをいたします。

○議員（16番 大部 初幸君） いや、わかります。なっているか、なっていないかだけを教えてください。

○議長（小川 廣康君） 教育部長、須川善美君。

○教育部長（須川 善美君） 教育委員会管轄は幼稚園でございます、幼稚園のほうには全てが和式ではなくて、洋式を設置しております。全てを洋式にするということは、現在の段階では考えておりません。それで、水洗等にしております。

○議員（16番 大部 初幸君） わかりました。済みません。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） 無理なお願いをしまして済みませんでした。残りは10分ありますけども、そういう形ですので、よろしく願いしておきます。

これで終わります。

○議長（小川 廣康君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を11時ちょうどからといたします。

午前10時42分休憩

午前10時57分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 皆さん、おはようございます。1番議員、新政会の坂本充弘でございます。

先ほど大部議員のほうからも発言がありましたように、本日は東日本大震災から8年となりました。被災地では復旧が少しずつ進んでおりますが、まだまだ完全復旧には時間がかかりそうで

す。住宅の再建は進む一方、5万人以上がまだ避難生活をされているようです。被災された皆様には、改めてお見舞い申し上げます。

それでは、通告に従い、次の3件の質問をさせていただきます。

1件目は、対馬市における児童虐待について。

2件目は、対馬縦貫道（国道382号）の早期2車線化整備について。

3件目は、道路沿いの投棄ごみ対策についてでございます。

以上、3点についてお尋ねいたします。

それでは、1件目の対馬市における児童虐待についてですが、1月の下旬から連日のように報道されております、千葉県野田市において小学4年生の栗原心愛さんが自宅の浴室で死亡するという事件が発生しました。一番愛情を持っているはずの両親から虐待を受けて死亡するという、やりきれない事件が発生したわけです。

傷害容疑で逮捕された父親は、この野田市に転居する前の沖縄でも暴力を疑わせる兆候があったということです。沖縄の糸満市から千葉県野田市に転居し、当初通っていた学校のアンケートで「お父さんに暴力を受けています。夜中に起こされたり、起きているときに蹴られたり、たたかれたりされています。先生、どうにかできませんか。」と回答し、県の柏児童相談所が一時保護、その後解除され、親族宅に身を寄せていましたが、間もなく自宅に戻されたということです。

児童相談所の解除の判断が正しかったのか、こういう場合の判断は本当に難しいと思います。行政は、解除後も親や子どもと面談するなど、継続的に家庭の状況を見守る必要があったと指摘をされております。また、アンケートのコピーを市教育委員会が父親に渡し、児童相談所には相談していなかったことが判明しました。

実態把握に乗り出した文部科学省は、コピーを渡したことについて「虐待リスクを高めた可能性がある」と指摘をしています。父親は、子どもに虐待のうその書面を書かせ、報告をさせたということです。アンケートにより、勇気を振り絞ってSOSを発信したのに、未然に防ぐことができなかったことは本当に残念でなりません。この事件を受け、関係閣僚会議が開かれ、予算委員会でも取り上げられました。

児童虐待については、事件になったときしか情報が入ってきませんのでよくわかりませんが、この対馬市において児童虐待があっているのか、またあった場合どのような対策をしているのか、お尋ねをいたします。

2件目は、対馬縦貫道（国道382号）の早期2車線化整備についてでございます。

この件については先日、伊原議員が質問しました内容と重複するところがありますが、御了承願いたいと思います。

御承知のように対馬縦貫道路は、上対馬町比田勝から厳原町豆殿間の全長約110キロ程度で、

対馬を南北に縦断する国道382号と県道24号線の大部分からなっております。

大正4年に測量が始まり、同7年に比田勝を起点に着工されましたが、大正12年に関東大震災が起り、中断されました。以来、再開されることなく、時が流れました。

第二次世界大戦が終わり、戦災復旧が一段落した昭和26年、国の総合開発計画に指定され、昭和28年「離島振興法」の成立により、対馬縦貫道の開発が復活したのであります。昭和31年には、2代目万関橋がかけられ、昭和43年春、美津島町の「旧濃部トンネル」の完成で全線が開通いたしました。着工から50年の歳月が経っていました。

5月には、巖原八幡宮神社前と、この豊玉町仁位中学校、現豊玉高等学校のグラウンドにおいて盛大な開通式が挙行され、当時の長崎県知事、佐藤勝也氏が祝辞を述べられたというのであります。

昭和57年、久保勘一氏の後を継ぎ、5代目の高田勇知事が就任され、翌58年、対馬に来島されました。上県町佐須奈の上県地区公民館で国道382号は、10年以内に2車線化を実現すると言われたことを私は覚えております。高田氏は、昨年9月8日、92歳で亡くなりました。4期16年の長きにわたり、長崎県のかじ取りを担い、長崎大水害や雲仙普賢岳の大噴火等、大型災害の対策を指揮してこられました。氏の御功績をたたえとともに、心から御冥福をお祈りいたします。

しかしながら、その任期中には国道382号の2車線化の実現は、かないませんでした。その後、金子知事、中村知事へと受け継がれ、着々と工事が進んではきましたが、いまだ2車線化は実現されておられません。昭和43年の開通から50年の歳月が流れました。

最近は大規模観光バスやレンタカーの台数も増え、事故も増えております。国道の2車線化について、早急な整備が必要と考えますが、現在の状況と今後の見通しを伺います。

3件目は、道路沿いの投棄ごみ対策についてでございます。

最近、道路沿いの投棄ごみがどんどん増え続けております。私がここに来るまでの道路沿い、東海岸でも国道でも本当に多くなっております。また、巖原まで行ったときにも、国道沿いでもごみが目立ちます。

特に、民家がないところ、そして道路より下の見えにくいところとか山間部です、ここにはいっぱいあります。空き缶、ペットボトル、弁当の空箱。地区の中には、ボランティアで回収されてある方を見かけることもあります。本当に感謝を申し上げたいと思います。しかし、山間部とか道路より低くなっているところ、回収しにくいところがあるわけです。

この投棄ごみの件については、8月の子ども議会でも上がっておりました。

その後、何か看板をつくるとかマナーの周知徹底を図るなど、予防対策を行ったのか、投棄されたごみの撤去はどうするのか、市長の考えをお伺いします。よろしくお願いたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 坂本議員の御質問にお答えいたします。

初めに、1件目の対馬市における児童虐待についてでございますが、平成16年の児童福祉法の改正により、関係機関の情報の共有や要保護児童の早期発見や支援を図るため、地方自治体ごとに要保護児童対策地域協議会、略して要対協といいますが、その設置義務が明記され、本市においても平成19年に関係機関の御理解をいただき、要対協を立ち上げ、随時、代表者会議、実務者会議及び個別ケース検討会などを開催し、それぞれの立場において情報や支援、かかわり方を共有しているところでございます。

さて、本市において児童虐待はあるのかとの御質問でございますが、本市がかかわったケースは年々増加の傾向にあり、その対応に大変苦慮している状況であります。虐待の種類といたしましては、心理的な虐待が最も多く、次に育児放棄に当たるネグレクト、身体的・性的虐待の順となっております。

虐待の通報先としましては、児童相談所が最も多く、次に市役所、家族、親族、学校の順となっております。

また、通報があった場合の対応はとのことですが、国の指針では、通報があってから48時間以内に児童の安全確認や、場合によっては身柄の確保を行うこととなっておりますが、長崎県においては24時間以内に行うこととしており、より迅速な対応を図るよう指導されているところでございます。

対応状況といたしましては、案件によって異なりますが、緊急を要する場合は例えば児童相談所や警察への通報を行い、児童の一時保護を行ったり、時間的な余裕が見込める場合は個別ケース検討会等を開催し、関係機関と情報を共有した上でかかわり方を協議し、それぞれの立場で支援を行っているところでございます。

その後においては個別に対応が異なりますので、答弁は差し控えさせていただきます。

次に、2件目の対馬縦貫道、要するに国道382号の早期2車線化の整備についてでございますけれども、国道382号におきましては、現在整備中の区間は、上県町の檜滝・弓張間と、今年度に着手した美止々・佐護間、美津島町の小船越畠ヶ浦口間でございます。

このうち檜滝・弓張間は、平成24年度から計画延長2,600メートルで着手し、これまでに約300メートルが完成しております。

美止々・佐護間につきましては、今年度から総事業費約20億円、計画延長1,300メートルの新規事業として採択されております。

小船越・畠浦口間は、途中休止の期間もございましたが、平成28年度から着手しており、測量や調査・設計等を行っております。

今後も引き続き、現在着手している箇所の早期完成を目指し、できるだけ早期に全線2車線化できるよう、県に要望してまいりたいと考えております。

次に、3件目の道路沿いの投棄ごみ対策についてでございますが、ごみの適正な処理につきましては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で定められており、廃棄物をみだりに道路、山林、河川、空き地などに捨てる不法投棄は、周囲の景観を損なうだけでなく、自然環境を破壊し、生活環境に悪影響を及ぼすため、法律で禁止されております。不法投棄者には、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金が科せられるようになっております。

この不法投棄を未然に防止するために毎年、警察、海上保安部、保健所、市による監視合同パトロールの実施、CATVでの啓発、地区の協力を得ながらの看板設置などの対策を講じております。この看板には韓国の観光客が多いことから、韓国語でも併記しており、ごみの不法投棄禁止の啓発を行っております。

また、今年度よりパトロール員2名を雇用いたしまして、不法投棄防止の抑制のため、島内を巡回し、現状の調査を行いながら、看板の設置や道路敷のごみ回収作業に努め、対策の強化を図っているところでございます。

この不法投棄物の処理につきましては、投棄者に責任がありますが、投棄者不明の場合は、土地の所有者や管理者の責任において処理するようになっております。我々自治体としましては、不法投棄の情報をもとに現地で廃棄物の調査を行い、投棄者の特定を行っております。特定できた場合には、その者と現地立ち会いを行い、撤去するように指導をしておりますが、特定できるケースは少ないのが実情でございます。

対馬市は海岸漂着ごみも大きな問題であります。国も海ごみ問題の対策は重要課題と捉えており、環境省の新たな取組が開始されます。我々もその動向を視野に入れながら、実現可能なごみ対策を検討していければというふうに考えております。

今後、不法投棄をなくすには一人一人が自覚を持ち、自分のごみは自分で適正に処理し、まちをいつも美しく保つため、地域で協力してごみを捨てない環境をつくり、土地や建物は不法投棄を誘発しないよう清潔の保持に努め、みんなの目で監視を行うなど市民全てが協力し合うことが大切だというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） まず、1件目ですけれども、こういう事件は本当に未然に防げればいいと思っております。こういう全国的に出てしまった事件で、この対馬市で起こらないことを本当に願っております。

この事件の発生に伴い、教育長の見解をちょっと私、聞いてみたいと思いますので、よろしく

お願いします。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 児童虐待というのは、子どもの心や体を傷つけるだけではなくて、命をも脅かす重大な問題であるというふうに認識をしております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。

この報道されていた事件についてなんですけれども、学校でのアンケートというのが実施されておりますが、この島内でも実施されているのでしょうか。わかりますでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 学校においては、虐待そのものに関するアンケートは行っておりませんけれども、例えば、いじめであるとか子どもたちの困り事であるとか、そういうことに関するアンケート等は各学校で行っております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） この児童虐待が発覚したときに、もし保護をしなければならない状態が出てきたときには、児童を保護する場所というのはどこになるのでしょうか。お尋ねできますか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、児童相談所等に相談することが第一義かとは思いますが、詳しいことにつきましては担当部長のほうに答えてもらいます。

○議長（小川 廣康君） 福祉保険部長、松本政美君。

○福祉保険部長（松本 政美君） 対馬市において児童虐待が起きた場合あるいはDVもそうなんですけど、そういう場合において、ここが保護施設というところは対馬市にはございません。

ただし、保護するケースにおいてホテルを借りたり、知人の家を借りた形で保護はしているところがあります。その後、佐世保児相とか長崎児相とか、大体、佐世保児相のほうに送致をするケースがあります。ですから、ほとんどその場合、飛行機がある時間に起きた場合についてはそういう形でホテル等で保護するケースはありますけれど、大抵は飛行機のある時間までは送致をしている状況でございます。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 市民の児童虐待に対する意識を高めていただいて、協力してもら

えるような体制づくりも必要ではないかと思えます。

それで、学校現場でも早期発見しなければならないと思えます。この学校現場で早期発見するにしても、やっぱり難しい状況だとは思えます。この対策について早期発見するような対策、方策、これは何かありましたらちょっとお教えいただけますでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 早期発見の対策という、これといったものは私、今思いつきませんけれども、学校で子どもたちがおかしいというふうなことが起きた場合には、学校内でそれぞれ情報確認をし合うであるとか、またはスクールソーシャルワーカーの助けを借りるであるとか、そういうことによってできるだけ情報を収集するようしております。その後は、先ほど福祉保険部長が申しましたように、関係機関と連携を、また連絡をとりながら対応をしていくという方法で進めております。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。

この千葉県で起きたような、こういう虐待による死亡事件みたいなのが実際に起きてきたら本当に大変だと思うんです。対応に当たられる職員は本当に大変だと思います。こういう場合がもし出てくれば、やっぱり上司とよく相談をしていただいて、よりよい解決策を見い出していただきますようお願いをいたします。難しい問題でありますけれども、そういうふうをお願いをしていただきたいと思えます。

それでは、次の質問に移ります。

国道の2車線化整備についてなんですけれども、これも市長のほうからよい答弁をいただきましたけれども、この対馬の国道についてはやはり距離が長いせいか、ほかの自治体と比べてみても遅れているのではないのでしょうか。同じ382号は、距離は短いですが壱岐のほうにもありますけれど、対馬はまだ2車線化されていないのに壱岐のほうはもう完全に多分できていると思うんですね。

五島あたりも国道はあるとは思いますが、ほかの自治体と比べて進捗率というか、そういう面はどうでしょうか。わかりますでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 進捗率等につきましては、あとで担当部長のほうから答えさせていただきたいと思えます。

ただ、昭和28年、離島振興法が制定されて以来、大きな整備額が対馬のほうにも投入をされているところでございます。そういった中で県の方とのいろんな話をさせていただく中で、どうしても対馬の場合は山林が急峻である、そしてまた同じ道路を整備するにしてもトンネル等がか

なりの数になるといったようなことで、このメーター当たりの単価が高くなってしまいうようなことで若干、整備が遅れているということは否めないところであろうかということに思っております。

○議長（小川 廣康君） 建設部長、小島和美君。

○建設部長（小島 和美君） ほかの離島との整備状況ということですが、まずは対馬島の場合は国道の実延長が86.5キロメートル、改良率が約84%、この改良率というのが幅員5.5メーター以上確保の部分という意味での改良率でございます。五島列島のほうが、実延長が96.5キロメートル、改良率が76.6%です。壱岐のほうですが、実延長が18.96キロメートル、改良率が93.6%ということになっております。手持ちの資料は、平成28年度の資料でございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） よくわかりました。

昨年の11月に国民保護訓練を県と一緒に行いました。このときに対馬の上島で国際テログループによる爆破テロが起きて、住民を下島に避難させるという想定のある訓練があったと思います。自衛隊や警察、関係機関との連携が必要となりますが、このような大きな訓練で重要なのは、交通がスムーズに流れる道路整備にあると思うんです。特に、対馬の場合、浦底から雞知までの間は1本しかなくて、ここが寸断されれば全く機能しなくなるわけです。

それで、重要度が本当に高いと思うんですけれども、この国民保護訓練のときの道路の整備の状況でどのような分析をされたのか、わかりますでしょうか。わかれば簡単でもいいですけれども。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 国民保護訓練のときの道路の分析ということでございますけれども、はっきりとした分析は出ていないんじゃないかなというふうに思っております。

しかしながら、議員のほうも今発言されましたように、対馬の場合は雞知から浦底までが国道のルートが1本であると。もし、この万関橋等に何らかの不慮の事故等があったら通行不能となった場合はここが通行止めになるということから、海上保安庁の船やその他の船等で運搬をする、またヘリコプター等で救急輸送をするというような計画を想定されて訓練が行われたものというふうに思っております。

そして、この国道の一本化につきましては、すぐにできる問題ではないとは思いますが、今、国のほうでもこういったところを複線化するダブルネットワーク事業という名をつけて、できる限り複数以上のルートを確保するといったことで今運動が進められているというところでございます。



○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 今までは観光客も少なくて整備が遅れて、国や県も予算をつけにくい面があったかもしれません。現在は交流人口、韓国人観光客も40万人を突破し、バスやレンタカーが増大し、やはり以前とは比較にならないほど台数が増えているわけです。

この前、春田議員のほうからも言われましたように、2月に対馬を訪れた片山地方創生相は「日本の地理的要衝となっている対馬は、国が責任を持って支援するべきだ」と発言をされています。

道路だけの問題ではございませんが、今後、市長がやっぱり先頭に立って陳情団でも結成して、国や県に陳情をしていていただきたいと思っております。

最後に、市長の決意をもう一回聞きたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この国道を含め県道、そして市道、こういった道路等につきましては生活の基本でございますので、今後とも議会の国道・県道の特別委員会の皆様、そして各地区の区長を始め、そういった促進協議会の皆様とともに力を合わせながら、できる限りの陳情活動は進めていきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） この対馬は、国防の最前線でもあります。陸・海・空の自衛隊が駐屯しております。有事の際はこの道路を使用することになりますので、一日も早い2車線化の実現をお願いしたいと思っております。また、短縮に向けて整備をお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。

次の質問に移ります。

最後に、道路沿いのごみ対策ですが、これは投棄をされているのは対馬の島民だけではないと思うんですね。今、韓国人観光客がどんどん増加して、やっぱり比例して投棄ごみも増加していると思っております。やはり捨ててはいけないという、マナーの周知徹底がまだまだできていないような気がします。この点についてはどうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） このごみの不法投棄の問題につきましては、行政といたしましてもいろいろとその対策、そして周知方を行っているところではございますけれども、議員おっしゃられるように、まだまだ不足する面も多々あるかと思っております。

まして、韓国等から今、約41万人のお客様も見えております。こういったお客様に不快な思いもさせないためにも、きれいな環境を保つための周知徹底等を図ってまいりたいというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ターミナルビルとか、そういう公共施設の中に掲示板、これは先ほどの答弁で市長がハングル文字ですか、そういうことも何か言われたみたいですけども、そのターミナルビルとかの中にもそういうマナー等ごみの投棄防止の掲示板は設置されているんでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私もターミナルの中にどの程度の看板等が設置してあるのか、ちょっとまだ確認はしておりませんが、もし不足するようであれば、このことにつきましては対処していきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 今、韓国人観光客はレンタカーとか、自転車のレンタル業者さん、自転車でもかなりの観光客が利用されていると思うんですけども、こういう業者さんのほうにもマナーについてのお願いはされているんでしょうか。また、されていないなら、お願いをしていただいて少しでもやはり協力をしてもらいたいと思うんですけども、いかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） こういった環境マナーとか道路の交通ルール、こういう件に関しましては今、韓国のほうから入ってくる船の中でビデオ等を見ていただいた上で、このルールを守っていただくための対策を練っているところ——練っていると申しますか、実際に行っているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 少しでもごみがなくなるように、クリーンな対馬のイメージを持ってもらいたいと思うわけです。この点、ぜひお願いをしたいと思います。

それでは、きょうの質問はこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、1番、坂本充弘君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩とします。再開は午後1時からといたします。

午前11時40分休憩

午後0時59分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。

15番、大浦孝司君。